



































チャレンジ項目記入数

15

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・経営理念は、HP並びに社内掲示、新入社員教育にて周知に取り組んでいる。 ・経営目標は、毎期予算の策定並びに中長期計画策定時に定め、職制を通じて周知、実現に向けた取り組みを進めている。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・コンプライアンス行動規範を定め、コンプライアンス委員会を設置・運用している。 ・入社時に研修を実施、また原則年1回、全ての従業員を対象に研修を行い、従業員の理解度を確認している。 ・方針についてコンプライアンス行動規範に定め、研修を実施し社員は同意書を提出している。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・方針についてコンプライアンス行動規範に定め、研修を実施し社員は同意書を提出している。 ・営業機密を含む秘密情報の秘匿・運用について秘密情報規程を定め、不正競争防止法を含めた情報管理について定期的に研修を実施している。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・環境安全室を設け、当社の事業活動が社会・環境に及ぼす影響を評価し、適宜行政へ報告している。 ・ISO9001 14001 を取得維持している。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・知財担当を設け、専任担当者が特許・商標・著作権等に関する管理運営を実施している。 ・e-learningを活用し知的財産権を含む研修を実施している。								8.2 8.3	9							16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報保護規程及び方針を定め、ホームページなどで公開している。 ・個人情報を扱う社員を限定し、データフォルダには特定の者しかアクセスできないよう設定し、適切に管理している。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・周辺住民:顧客や地域住民からの苦情や依頼に対し速やかな対応を心がけている。 ・顧客取引先:SDS、イエローカードを発行し適切に情報を開示している。 ・市政協力員と定期的なコミュニケーションの機会を設けている。															16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●						5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	・BCPを策定している。 ・年2回の緊急時訓練や、隣接企業との年1回の合同消防訓練を実施している。									9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・定期採用を実施している。 ・OJTによる後継者の指導・育成に取り組んでいる。 ・階層別研修を実施している。								8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内でも差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・コンプライアンス行動規範、ハラスメント基本方針、人権方針などを定め、コンプライアンス委員会でもハラスメントや人権侵害がないことを定期的に確認している。 ・ハラスメント相談窓口を設置し、周知徹底している。 ・ハラスメント防止教育を定期的に実施している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・月次開催する安全衛生委員会の中で、安全衛生の改善に関する従業員の声を確認し、労働環境整備に日々取り組んでいる。 ・心と体の健康を確保するため、教育および外部相談窓口を設置している。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・賃金規程、職能資格規程、契約社員人事考課取扱い規則等を定め、「同一労働同一賃金ガイドライン」を遵守している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・水曜日を定時退社の日とし、残業時間の低減を図っている。 ・労働時間短縮に向けた施策として、業務棚卸や業務最適化を適宜実施している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・階層別研修を実施している。 ・随時各種外部研修の案内をしており、必要な経費を支給している。 ・資格取得報奨金制度を設け取得時に難易度別の報奨金を支給したり、通信教育の受講料補助を行っている。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・従業員を対象とした健康診断、人間ドック、予防接種を毎年実施しており、経費補助を行っている。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・男女間の差異なく女性も管理職に登用している。また、留学生などほぼ毎年外国人を登用している。 ・高齢者の労働環境の整備をしている。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・拠点間ならびに社内会議においてウェブ会議を常用している。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・プラント設計における3Dモデリングソフトの導入を行っている。 ・学術文献検索サービスを常用している。 ・中央監視システムによる場内の機器管理を行っている。								8	9.1		11	12					
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●	・令和4年度よりプライト企業に認定されている。			3	4				8	9			12					

チャレンジ項目記入数

15

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・環境ISO14001を取得している。 ・電子マニフェストを活用し、適切な処分ならびに管理を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・毎月棚卸を行い、エネルギー使用量を把握している。 ・生産性合理化計画によりエネルギー原単位の削減を達成している。 ・設備の断熱保温強化、スチームトラップ点検、省エネ機器への切り替え等による使用蒸気削減に取り組んでいる。							7.3					13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・2021年10月より、電力総使用量の半分を九州電力によるグリーンエネルギーを購入している。 ・太陽光パネルの導入、設備の断熱保温強化、スチームトラップ点検、真空ポンプの切り替え等による使用蒸気削減に取り組んでいる。 ・温室効果ガスの排出量の把握は、A重油消費量と電力購入量から毎月把握している。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・工場排水・排気ガス・騒音を常時モニタリングし、八代市環境保全協定に定めた協定値を遵守している。 ・環境配慮型製品を開発提供している。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・産廃委託処理業者選定の際、リサイクル率の高い業者を選定している。 ・生産過程における有効成分を可能な限り回収活用している。 ・工程で発生する副産物をサーマルリサイクルしている。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・水無川環境保全協議会等の環境保全団体への参加をしている。 ・生産性を改善し、井戸水の使用量を削減している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・低環境負荷/低VOC製品ならびに水性塗料用製品を販売している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・事務所において緑のカーテン(壁面緑化)を行っている。 ・工場緑化および環境整備計画を立て緑化を推進している。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。		●	・2021年10月より九州電力からグリーンエネルギーの購入をしている。 ・機器更新は適宜最新型を導入推進している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・八代市主催の球磨川河川敷沿いのボランティア清掃への参加を行い、海洋汚染の防止削減に貢献している。 ・従業員による一斉場外清掃の実施。(6回/年)												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	・社用車を電気自動車に切り替え、運用している。									9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●	・2030年CO2排出量50%削減(対2013年度比)の具体的計画を作成し、取り組みを進めている。(徹底した省エネ、A重油からLNGへの切り替え、再生可能エネルギーの導入等を進める)							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト


















事業者名: KJケミカルズ株式会社 八代工場

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

チャレンジ項目記入数

15

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・品質ISO9001の取得。 ・品質イエローカードの発行による品質確保を行っている。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・社内ルールの多言語化を行い、国籍の異なる従業員が理解しやすい環境整備を実施している。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・低環境負荷/低VOC製品ならびに水性塗料用製品を販売しており、大気環境対策や生活環境の保全に貢献している。 ・上記の製品を環境配慮型製品と位置づけ、生産性向上ならびに拡販に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・八代市主催の球磨川河川敷沿いのボランティア清掃への参加を行っている。 ・水無川環境保全協議会等の環境保全団体への参加をしている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・定期的に避難訓練を行っている。 ・防災設備や防災グッズを常備している。 ・災害補償保険や生命保険に加入し、万が一に備えてリスクハッジをしている。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・自衛消防隊を編成し、周辺企業に災害が生じた際は相互に共助しあうこととしている。年1回、周辺企業と合同で防災訓練を実施している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・社内CO2削減プロジェクトを立ち上げ、活動をしている。 ・環境社会報告書の公開と周知を行っている。(CHEMIPAZ社HP) ・人権方針を定めHP上で公開し、方針について社員教育を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・高校生や大学生のインターンシップを積極的に受け入れている。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・県内学校を訪問し会社PRを行い、県内就職を促進している。 ・熊本県主催による地元就職フェアに参画している。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。